

支えあって ふれ合って…

絆の杜

No. 47

2017. February

社会福祉法人 光道園



2017年 おかげさまで

60周年



光道園創立六〇周年 未来へ紡ぐ

園長 荒木博文

今年、光道園は創立六〇周年を迎えます。今まで光道園に関わっていただいた皆様のおかげと感謝申し上げます。創立六〇周年を迎え光道園では「初心に戻ろう」をスローガンとして今一度組織再編を目指します。

ここ二年連続で虐待事案が発生し大きく信用を失いました。不適切な支援、ケアも少なからずあります。そこで今年を再生元年としたいと思います。

具体的な取り組みとして、一つは、利用者本位、利用者主体の徹底、倫理綱領の順守です。光道園の理念実現に向けた各施設、事業所の基本方針を見直し、倫理面の強化策として全職員を対象に倫理研修、虐待防止研修を行ないます。また利用者本位に対するセルフチェックを四半期ご

とに実施します。

二つ目に職員の福祉職としての専門性の向上に努めます。自立支援に特化したサービス、ケアに重点をおき、職員個々の状況がしっかり自己分析が出来うる「見える化業務シート」を作成し、高い倫理観を有する福祉専門職を育成します。研修体制においても、職員個々に研修目標を設定し、一職員一研修を実施します。

三つ目は光道園の将来像を提示します。まず二年を中途に障がい者グループホーム（定員一〇名）を新設し施設から在宅へと移行を行ないます。光道園の特徴を活かしたホーム作りを行ないたいと思います。そして五年を中途に光が丘ワークセンターの施設整備とライトホープセンターの個室化の両方を解決出来る

施設整備を行ないます。同時に障がい児に対応する事業、在宅の障がい者に対する事業を見直していきます。

四つ目は、人材不足の昨今、職員の労働環境の整備を行ないます。メソナルヘルスチェックの実施、カウンセラーの定期相談など精神面も支えたいと思います。人材確保に向けては外国人雇用を行ないます。外国人技能実習制度及び留学制度を活用し、一定割合の外国人雇用を順次行ないます。

以上光道園は初心に戻りスタートします。職員は勿論のこと、利用者の方たちと共に未来に向けて紡ぎ続けます。どうぞ今後ともご支援のほどお願いいたします。

表紙	二十歳の思い	6.7
園長あいさつ	職員紹介	8.9
さくら館 成人式	さざんかプラス開催	10
あさぎ館 クリスマス会	利用者紹介「私らしいライフスタイル」	11
養護 初詣&ぜんざい会	60周年記念誌告示 フクレール・陶華星広告	12



着物でポーズ

「これからも

笑顔でいこう！」

ライフトレーニングセンターさくら館では、一月十日にサプライズで成人のお祝いを行いました。主役は田邊嵯祈さんです。職員お手製の着物に身を包み、さくら館の専属スタイリストにより女性らしく髪を結び、ピンクのリボンを付け、成人らしい装いで参加となりました。みんなから「素敵！きれい！」と言われると、にっこりと笑いとでも嬉しそうにされていました。嵯祈さんの笑顔を見ると職員も自然と笑顔になります。

写真撮影ではカメラを向けられると緊張してしまわれるのが、最初はなかなか笑顔が見られませんでした。カメラマンも周り



さあ！二十歳の門出だ！



これからも花咲く未来に go!

の職員も、なんとか笑顔で写真が撮れるようにと「こっち！こっち！嵯祈さん！」と必死になり、それが可笑しくて、みんなで大笑い。最後は一緒に笑って写真を撮ることができました。

お母様のお迎えの時間が刻々と迫る中、次のサプライズの準備に職員は取り掛かりました。音楽OK！風船OK！お花OK！準備は整いました！お母様がさくら館の扉を開けると「GO！GO！GO FOR IT！」と明るく愉快な音楽が流れました。たくさんさんの職員でお出迎えをし、その先には嵯祈さんが待っていました。お花でトンネルを作った職員の

間を、嵯祈さんとお母様は、ゆっくりゆっくりと歩き、時々職員とハイタッチをしながら会話を交わし進んでいきました。

最後に、天井で吊り下げた風船を割っていただき、紙ぶぶきが舞い落ちる中、記念の写真立てをプレゼントしました。笑顔で写る嵯祈さんを見てお母様に喜んでいただけました。さくら館に「嵯祈さん！成人おめでとう！」という声と拍手が大きく響きわたりました。成人という大きな節目を一緒にお祝いできたことを本当に嬉しく思います。これからもさくら館で楽しい思い出を作ってくださいませよう。



これからもみんなと一緒に！

文 療護二課 岡 理恵子

いつも嵯祈ちゃんの笑顔に癒されています。人生の4分の1が過ぎました。これからも楽しい事をたくさん見つけて健康で明るい笑顔を見せて続けてください。お父さんも嵯祈ちゃんと一緒に人生を歩んでいきたくて強く思います。そして家族みんなで日々、明るく生活していきましよう。(父より)



両親より愛をこめて

小さい時は何もしゃべれず、食事も少なく骨のような細い両足でしたが今では大好きな歌を歌ったり、たくさん食べて体重増加を気にかけるまで成長しました。たとえ、手足が不自由でも今、自分ができる事をこれからも長く続けるようにしていかってください。嵯祈ちゃんの笑顔が絶えないように親としてこれからも手助けしていきたいです。ずっと一緒に頑張っていこうね。(母より)

クリスマス・年忘れ演芸会を通して

今年度四月から、ライトホープセ
ンター 援護二課へ異動となり、四季
折々の行事などを利用者の方々と一
緒に体験しながら、楽しく勤務して
います。

今回はその中でも昨年十二月に行
なわれた「クリスマス・年忘れ演芸
会」について紹介させていただきま
す。私の感想としては心の底から楽
しめた行事となったと思えました。

当日は通所の方も含め、七十六名
の利用者の方が職員と一緒に作業場
に集まり、いつもより賑やかな雰囲
気が感じられました。

内容としては利用者の方々による
カラオケ、朗読、ものまねなど、そ
れぞれの演芸が披露されますが、中
でも全力で披露されたものまねには
大笑いでした。



特に利用者の北野さんによるもの
まねが印象的で、『お祭り』『綱引き』
のものまねには想像以上に笑いの渦
に引き込まれ、気付いたときには写
真を撮ることも忘れていました。

それぞれの演芸を終えた後は、ク
リスマスということで職員から利用
者の方にクリスマスプレゼントが贈
られました。その時、職員と利用者
の方とでサンタクロースとトナカイ

に変装してプレゼントを贈ると、ク
ライマックスらしく、より一層賑や
かになりました。自分の欲しい物を
プレゼントされ、話が盛り上がり、
賑やかなひとときとなりました。

利用者の方々の、和やかで楽しそ
うな姿をみることができました。

私としては、今年度初めから援護
二課での新たなスタートとなり、不
安な面も多々ありましたが、援護二
課の職員のみならず利用者の方々
にも支えられていると感じた一年とな
りました。

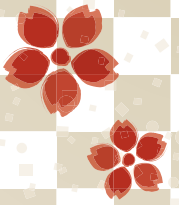
今後も利用者の方々とお楽しむこと
をモットーに日々の支援に係わり、
少しでも生活を楽しんで過ごしてい
ただけるようにと思っています。



文 援護二課 西原 大樹
撮影 " 田中 慶朋



初詣 & ぜんざい会



親子で
はい チーズ



これを
待ってたんや



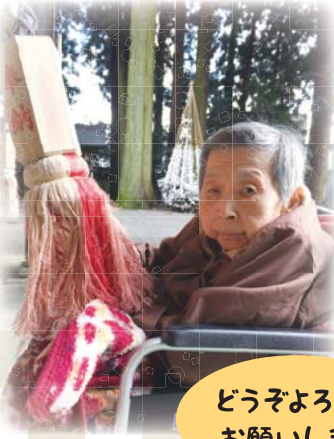
なれた手つきで
つくります



大吉、中吉、
それとも...



今年も良い一年に
なりますように



どうぞよろしく
お願いします



おいしいわ



ご利益
ありますように

一月五日の午前中、初詣を希望された利用者の方々と一緒に、織田の劔神社に行ってきました。少し風はありましたが、一月とは思えない良い天気の中、一年間健康に過ごせますように、怪我をせず、いつまでも元気に歩けますようになど、皆さん思い思いの願い事をしてきました。
また、初詣を希望されなかった利用者の方々と、午後からのぜんざい会に向けて、白玉団子作りをしました。白玉粉に絹ごし豆腐を混ぜ、柔らかくつるんとした団子が出来上がりました。利用者の皆さんは、午後のぜんざい会では大きな口を開けて、パクリ、モグモグ、ゴックン。「甘くておいしい、喉越しいいね」と言いながらたくさん食べられています。年の初めに皆さんの笑顔を見て、今年もたくさん笑顔が咲く一年になりますように...

文 高齢福祉一課 佐々木 聡子

平成29年、光道園では、6名の職員が新成人を迎えました。
これからの光道園の新しい時代を担う職員の皆さんです。
新成人の職員の皆さんと荒木園長を交え、二十歳のそれぞれの思いを伺ってみました。



園長から新成人に
エールをいただきました。

—まずは、二〇歳を迎えた皆さん
おめでとうございます。園長から皆
さんにお祝いの言葉をお願いします。
荒木園長：皆さん、おめでとうござ
います。皆さんは二〇歳になって何
が変わると思いますか。一〇代の頃
と何が違うかという、より責任が
増すということだと思います。皆さ
ん高校を卒業し、二年経ち、仕事へ
の方向性が見えてくるころではない
でしょうか。この仕事は本当にやり
がいがある仕事です。皆さんも、こ
んな人になりたいと思える人を見つ
けて、その人を目指し、自信をもつ
て頑張っていくってほしいと思います。

療護二課では、新しく色んな活動
をしています。例えば、キャンプフ
ァイヤーやバスラーメンなど、利用者
の方と楽しめる行事がいっぱいです。
これからも利用者の方と色んなこと
をしていきたいです。



趣味はバイクに
乗ることです！

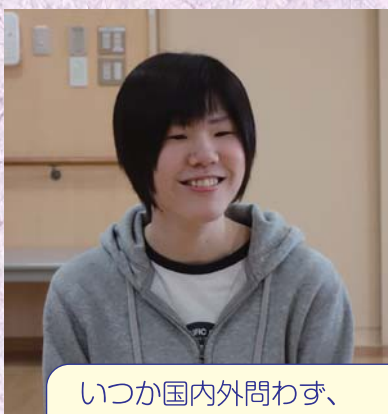
—ありがとうございます。
それでは皆さんが光道園で働く
きっかけや趣味などを教えてください。
い。



おじいちゃん、おばあちゃん子の
優しい濱さん。

—佐々木さんは療護二課でも二〇歳
のお祝いをしてもらったんですね。
佐々木 はい。嬉しかったです。写
真も飾ってあります。
濱：援護一課の濱です。私は初め、
事務がしたくて商業高校に進学した
のですが、曾祖母が施設を利用して
いて、何回か遊びに行っているうち
に、福祉に興味が湧いてきました。
そして就職の時期に求人を見ていた
ら、介護の仕事を見つけて、おばあ
ちゃんなので、将来役に立つなと
思ったんです。趣味は体を動かすこ
とで、最近は援護一課で昼休みに、
卓球大会をしています。すごく楽し
いですよ。

紺谷：高齢福祉二課の紺谷です。私
の住んでいることは、おじいちゃ
んやおばあちゃんが多い地区で、皆
孫のように可愛がってくれました。
その頃から、福祉関係の仕事がした
いと思うようになりました。趣味は、



いつか国内外問わず、
旅行にいつかみたいです！

荒木園長：昔は朝日でも卓球大会や、
他にも色んなことをしていました。
皆も新しいことはどんどん計画して
いってほしいです。楽しみに待つて
ますね。例えば卓球、バレーは障がい
者でも高齢者でも皆が出来るスポー
ツです。ぜひ光道園でも広めていっ
てほしいと思います。

二十歳の思い

読書や映画を見ることです。お金を貯めて、旅行に行ってみたいとも思っています。

中野・援護二課の中野です。私は高校の担任の先生から、光道園の買い物ボランティアを進められて、紺谷さんと参加したことがきっかけでした。その時すごく楽しくて、障がい者支援に興味を持ちました。趣味はずっとやりたかったスノーボードを一年目の冬に先輩職員と一緒に行きました。冬のボーナスはそれに使いました(笑)



仕事もプライベートも充実しています。



目標はお金を貯めて、一人暮らしをすることです。

片岡・高齢福祉一課の片岡です。私は介護福祉士になるのが夢で、特にやりたいことはないけれど、利用者の方とかかわっていると楽しくて、笑顔を見ると癒されます。趣味は好きなアーティストのライブに行くことで、この前行ってきました。

加藤・療護一課の加藤です。僕は病院のボランティアに行ったときに、利用者とのかわりが楽しくて、光道園に就職しました。

— 加藤君の食事介助はすごく丁寧で、いいなあと思っていましたが、どういう気持ちで利用者の方とかかわっていますか。

加藤・相手の気持ちに立って、食べるペースを合せたり、色んな味を楽しめるように、順番を考えてしています。



物静かな雰囲気の中に、仕事への情熱を感じました。

— そういう気持ちを忘れず利用者の方とかかわっていききたいですね。

祝成人 輝くまで 輝いたまで

— 短い時間の中で、皆さんの仕事に対する思いやプライベートなことも、たくさん話してくれました。今年光道園は六〇周年を迎えます。皆さんの若い力で、一緒に盛り上げていきましょう！皆さん、ありがとうございました。



ワタシノ時間

今回のインタビューは、就労支援事業所フ・クレールの吉田茂さんです。吉田さんには、フ・クレールでのこと、趣味やライフスタイルなどについて伺いました。

仕事の時間

—フ・クレールでの、吉田さんの仕事を教えてもらって良いですか。
 施設外支援で、地元の企業に、利用者の方と一緒に仕事に行っています。高校や市役所関係などで販売に行っています。パンの配達や、フ・クレール店舗の開店準備、委託作業場の準備などを行なっています。

バンドの時間

吉田さんのバンド活動ルーツを探ると、大学時代の軽音楽部にさかのぼります。

—学生時代は主にどんな活動をメインにしていましたか。
 学生時代は、学園祭や他の大学のサークルと組んでライブ活動を行っていました。

今は、同じ福祉関係の方とメンバーを組んでいます。月に一回の練習と、二ヶ月に一回ライブ活動を行なっています。福井駅前のホールでもライブを行なったこともあります。音楽は、ジャパニーズポップロックが中心で、

オリジナルの曲もやっています。

—オリジナルというと…?

オリジナルの曲は100曲以上あり、作詞・作曲をやっています。レコーディングスタジオで録音し、自主レーベルでCDも20枚くらい出しています。

「趣味」の域を超えた活動をされている吉田さん。以前、創立模擬店でたくさん楽器や機材を持っていることを聞いたので、そのことについて質問してみました。

—それだけのレベルでの活動をされていると、楽器や機材も充実しているんでしょうね。
 そんなことは…。今は、エレキギターが二本、アコースティックギターが二本、ベースが一本、キーボードが一台、それ以外に音響の機材もっています。

—総額おいくらですか？

新車が一台買えるくらいでしょうか…。



フ・クレールでのミーティング風景

趣味の時間

仕事について、真面目に語る吉田さん

家族の理解や支えもあってこそ、今の活動が出来ていると話す吉田さん。最近ですが、新たな機材を購入したようで、もちろん、奥様は周知だそうです。

園内でも、創立模擬店の職員バンドの他、行事などでも演奏することもあるそうです。



隣のグループホーム「とらいと」にてギター演奏

ここまでお聞きしても、趣味としては十分な活動をされていますが…。実は、もっと凄い活動が…

ラジオの時間

「ラジオの番組を持っていると聞いたのですが…」

はい。地元のFMラジオ局で「おきんの歌」という番組を放送しています。おかげさまで、今年で五年目を迎えることができました。福井県内のインディーズバンドをゲストにむかえて、お話しをしたり、その曲をかけたりにしています。番組の時間は、一五分くらいですが、収録には、大体一時間くらいで、光道園での仕事が終わってから、収録しています。

「番組を持つ」と思っただけではありませんか。

音楽やその他と一緒に活動していた方がいたのですが、その方がラジオを通じて、丹南地区や福井が盛り上げればいなと話をしていました。その方は残念ながら、お亡くなりになってしまったのですが、その人の意志を継ぐという思いと、やはり、私もラジオを通じて地域の盛り上げに一役買えればという思いで、この番組を続けています。

「番組は、五年目を迎えましたか」

そうですね。お呼びするゲストは、地元のバンドももちろんですが、地域で頑張っている人達にも来てもらっています。たくさんのお会いがあり、私自身も、大変よい刺激をもらっています。



スタジオにてゲストを迎えて

ちなみに、この「おきんの歌」は出演交渉から番組構成全てを吉田さんが行なっているそうです。ゲストにお呼びしたバンドには、メジャーデビューしたバンドもあるそうです。吉田さんの番組が飛躍のきっかけになっているのかもしれませんが。

ワタシノ時間

一つひとつの言葉の中に、仕事のこと、続けている活動のことについて、たくさんのお熱い思いを感じる事ができました。最後に、吉田さんにとって「ワタシノ時間」で大切にしていることをお聞きしました。

大切にしていることは「家庭と仕事と趣味のバランスです。」

吉田さんの中で「家庭」「仕事」「趣味」この三つがバランスよく構成されているからこそ、それぞれが大切な時間として、使えているのだと感じました。



今回のゲスト：吉田 茂さん

就労支援事業所『フ・クレール』にて職業指導員として勤務。仕事以外では、バンドやラジオ番組を持つなど幅広い分野で活躍中。吉田さんの番組『おきんの歌』は、たんなん夢レディオ(79.1MHz)にて、毎月第4土曜日12時15分～30分(再放送翌週月曜日21:30～)絶賛放送中!

「第一回さざんかプラス」

来て、見て、聞いて、元氣もりもり光道園へ

昨年十月十六日（日曜日）午後一時半から朝日事業所一階ホールに於いて、地域の方を対象に施設見学や介護食等の試食コーナーや寸劇を行



光道園ほがらか劇団御一行

わせていただきました。昨年の在宅介護支援センターが行なった『地域のニーズ調査アンケート』結果では、

「楽しい講座があると良い」「認知症予防について知りたい」「光道園ではどういうことを行なっているのか知りたい」「施設外にふれあい喫茶的な場所があると良い」等沢山のご意見をいただき地域の方の思いを知ることができました。そしてそれらを参考に今後、施設としてどういうことをさせていだけるかが課題となりました。

光道園には現在、介護職以外に沢山の専門職があり、すでにご利用されておられる方に対しては専門職がその方に合った色々な取り組みをさせていただいております。でも地域の方にお役に立てることは何かを検討した結果、劇を通して皆様に少しでもご理解いただけたらということ

で、寸劇「忘れてしまった印籠」認知症になっても黄門様」と題して職員による『光道園ほがらか劇団』をこの度発足しました。



今回は劇の中でどうしたら認知症が予防できるのか、又認知症の方にどう接したらよいのか等おもしろおかしくご覧いただけますように九名の職員が演じさせていただきました。

介護食等の試食コーナーでは、鶏の唐揚げ、青菜のお浸し、天ぷら等普通食とソフト食、ムース食を食べ比べていただき、食にはすぐ関心

が向けられ「菜物を家でも柔らかく茹でるコツ」等多くの質問がありました。その後のアンケートでは「今回を機に夏祭り等に参加したい」「地域に開かれた光道園という感じがした。引き続き活躍を期待します」「健康のポイントがわかりやすく楽しく教えてもらった」等のご意見をいただきました。今回二十五名の方がご参加いただきましたが、本当にごなため熱心にお聞き下さり感謝の気持ちで一杯です。今後もご利用の方は勿論、地域の方にも予防を支援する取り組みを続けていきたいと思っております。その為にも地域の方のお声を大切にしていきたいです。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



文 第三光が丘ハウス 加藤 佳子

私らしいライフスタイル



今回のゲスト：漆原 藍さん

越前町朝日にあるグループホーム『とらいと』で生活。日中は、就労支援事業所『フ・クレール』での仕事、園内の詩吟クラブの他、2018年の福井しあわせ元気大会にむけて、フライングディスク競技指定強化選手として活躍中。

今回、ご紹介する漆原藍さんは、とらいと（グループホーム）とフ・クレール（就労支援事業所）を利用されています。漆原さんに光道園でのライフスタイルについて、普段の生活のこと、これからの目標についてインタビューしました。

—漆原さんと言えば、いろんなことにチャレンジしている印象があるのですが。

そうですね（笑）今は、園内の詩吟クラブや国体に向けてのフライングディスクなどを行なっています。

—学生時代にはどんなことをしていましたか？

学生時代は、音楽、和太鼓、卓球、水泳、茶道、華道などを学校の活動でやっていました。

お話をお聞きすると、今の漆原さんのチャレンジ精神の原点には、学生時代にあるように思えます。

そして、光道園に入所後、生活の場所をライトホープセンターから、現在の「フ・クレール」「とらいと」へ移されます。

—新しい生活の場所となり、漆原さんの中で、変わったことはありますか？

フ・クレールに来て思ったのは、たくさんの仕事があることです。いろんな仕事にチャレンジできるのは楽しみです。

—パンの販売にも行かれていますよね

はい。販売では母校の福井盲学校に行くこともあり、それも楽しみの一つです。

—とらいとでの生活は？

部屋の掃除や音楽を聞いたり、たまにですが調理にもチャレンジしています。週末は、ヘルパーさんと映画やお祭りに出かけたりすることもあります。たまに寂しいときもありますが詩吟クラブや外出でホープセンターお友達に会いに行くこともできるので。

インタビュー中は、ずっと笑顔で答えていただきました。漆原さんにとって、フ・クレールやとらいとでのライフスタイルは、まだ進行形であり、今後たくさんの目標やたくさんの人との出会いの中で、「私らしいライフスタイル」が出来上がっていくのではと感じました。

—最後に漆原さんにとって「私らしいライフスタイル」とは？

楽しいことがあれば、また次の日も頑張ろうと思えるので、楽しいと思えることが大事だと思っています。「楽しい」という言葉は、笑顔が似合う漆原さんらしい言葉でした。漆原さん、ありがとうございました。

これからも、「絆の杜」では、園内の利用者の方にたくさんインタビューしていきたいと思っています。



60周年記念にむけて、さまざまな企画進行中です！

記念誌（タイトル未定）

過去の生活支援事例報告書から抜粋した事例を再編集。事例については、これまで助言者としてご参加いただきました先生方よりコメントをいただく予定です。

記念イベント企画中！

記念の催しや創立模擬店（鯖江・朝日）での60周年特別企画などを予定しています。



新しい味
登場

四角い食パンができました。

メープル食パン

¥500



ショコラ食パン

¥500



小分けしての販売もあります。
ご注文お待ちしております。

Fu Clair
フ・クレール

〒916-0146 丹生郡越前町朝日1丁目504番地
Tel.(0778)34-8801 Fax.(0778)34-8831

光道園ライトワークセンターの「陶華星」です。昨年も多くの皆様から、開運干支「夢酉（とり）」をお買い求めいただき、誠に有難うございました。

干支の生産が一段落し、新年に入り「陶華星」では越前焼きの生産に励んでおります。5月には「越前陶芸祭り」を控えており、道の駅の西山公園でも春にはつつじや桜を求めて多くの観光客が訪れます。今は春に備えてなるべく多くの作品を生産する時期となっています。新年度からの「陶華星」の作品にご期待下さい。



のぞみ工房 陶華星

〒916-8585 鯖江市和田町9-1-1 光道園ライトワークセンター内「陶華星」
TEL (0778) 62-8103 FAX (0778) 62-3775

社会福祉法人 光道園

社会福祉法人 光道園 法人本部
鯖江市和田町9-1-1

障害者支援施設 ライトワークセンター
鯖江市和田町9-1-1

障害者支援施設 光が丘ワークセンター
丹生郡越前町朝日22-2-2

障害者支援施設 ライトホープセンター
丹生郡越前町朝日22-3-1

障害者支援施設 ライトレーニングセンター
鯖江市和田町9-1-1

日中生活介護事業 たねのいえ
鯖江市和田町9-1-1

障害者支援センター こうどうえん
鯖江市和田町9-1-1

養護老人ホーム 第一光が丘ハウス
丹生郡越前町朝日22-7-1

養護（盲）老人ホーム 第二光が丘ハウス
丹生郡越前町朝日22-7-1

特別養護老人ホーム 第三光が丘ハウス
丹生郡越前町朝日22-7-1

通所介護事業所 デイサービスセンターさざんかホール
丹生郡越前町朝日22-7-1

訪問介護事業所 ヘルパーステーションさざんか
丹生郡越前町朝日22-7-1

居宅介護支援事業所 さざんかホール
在宅介護支援センター さざんかホール
丹生郡越前町朝日22-7-1

越前町障害者支援センター さざんか
丹生郡越前町朝日22-7-1

共同生活援助事業所 とらいと
丹生郡越前町朝日1-505

就労支援事業所 フ・クレール
丹生郡越前町朝日1-504

<https://www.kodoen.or.jp/>

光道園



検索